

保護者各位

東京都立広尾高等学校長

学校における地震災害対策について（お知らせ）

生徒の安全確保に万全を期すため、標記の件について下記のように地震災害対策を行いますので、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

記

1 災害発生時における学校防災体制

本校では毎年「学校防災計画」を策定し、災害発生時の教職員の任務を明確にし避難誘導・情報収集・救護活動等を組織的に実行できる体制を組んでいます。この学校防災計画に基づく生徒の安全確保・連絡体制等は次のとおりです。

2 災害発生時の生徒のとりべき行動

(1) 生徒が在校中に発災した時

① 教室や特別教室での授業中

まず身を守る。机の下に潜り机の脚をつかみ、頭を窓や壁と反対側に向ける。鞆、座布団等で頭を保護する。主要振動が収まったら、教員の指示により整然と避難を開始し、体育館（グラウンド）に集合する。

② 体育館での授業中

落下物に注意しながらその場で頭を抱えてしゃがみ込み、主要振動が収まったら教員の指示にしたがって避難を開始し、グラウンドに集合する。

③ 体育館（グラウンド）での授業中

その場で頭を抱えてしゃがみ込み、主要振動が収まったら教員の指示に従って行動する。

④ 休み時間や放課後

授業中と同様に行動する。放送やハンドマイクによる避難指示を待ち、指示がでた時点で移動を開始し、体育館（グラウンド）に集合する。

⑤ 生徒の掌握

体育館（グラウンド）に避難したら、ただちに整列する。教員による生徒の安否確認が済み、次の指示が出るまで冷静に待機する。

⑥ 避難開始

災害の状況に応じて、授業再開、帰宅または学校待機となる。帰宅となった場合は、安全に配慮しながら帰途に着く。途中で帰宅が困難と想定される場合は、近くの避難所に向かう。自分の所在を学校に連絡する。なお、帰宅が困難な場合は学校に戻り、体育館（グラウンド）に集合し、その後の指示を待つ。

(2) 登下校時に発災した時

- ① 電車やバスに乗車中の時運転手等の乗務員や駅員の指示に従い、一段落したら学校に所在を連絡する。
- ② 自転車乗車中や歩行中の時
鞆や上着等で頭部を守り、建物等からの落下物に注意する。揺れが収まったら、現在地の状況を判断しつつ、学校に避難または家庭に帰る。家に着いたら末尾に記載の電子メールか電話を使用して安否を学校に連絡する。

(3) 休日や夜間等に発災した時

- ① 部活動で学校や外部施設にいる場合
顧問教員等の指示に従って行動する。
- ② 家庭にいる場合
保護者の責任において安全確保を図る。末尾に記載の電子メールか電話を使用して安否を学校に連絡する。自分の身や家族の安全を確保したら、地域の人々と協力して助け合う。

3 学校の対応

(1) 授業日に発生した場合

上記の「生徒が在校中に発災した時」に合わせて生徒の安全確保を第一とした対応を行います。

(2) 大地震が夜間・週休日・休業日に発生した場合

教職員に対して緊急の参集体勢を取り、災害の発生状況により段階的に教職員が学校に参集することになっています。したがって、発生直後には連絡が取れない場合もありますが、その後は常時連絡の取れる態勢になります。しかし、通常の電話回線はかかりにくくなるので、携帯電話やインターネット等複数の手段で学校に安否の情報を連絡してください。

(3) 授業再開

安全が確保され授業再開の見通しが立った時点で、連絡網等や学校のホームページを用いて授業再開の予定を連絡します。それまでの期間は、自宅等での待機の措置となります。

広尾高校ホームページURL <https://hiroo-h.metro.ed.jp/>

(4) 学校への連絡先

広尾高校 E メールアドレス S1000027@section.metro.tokyo.jp

広尾高校 電話番号 03-3400-1761